

地震工学会
津波などの突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会
第19回研究委員会 議事録

1. 日 時：2016年3月11日（金）10：00～12：10
2. 場 所：工学院大学新宿キャンパス 28階 第1会議室
3. 出席者：後藤，山本(文責)，甲斐，佐藤，荒木、末松，仲村，久田，小山(H)、三上(H)、高田(H)
4. 資 料：
 - 資料 19-1 第19回研究委員会 議事次第
 - 資料 19-2 第18回研究委員会 議事録(案)
 - 資料 19-3 報告書 目次避
 - 資料 19-4 津波避難部会 報告書(案)
 - 資料 19-5 特別調査委員会 目次案
 - 資料 19-6 シミュレーション部会 報告案
 - 資料 19-7 国際交流部会 報告書(案)
 - 資料 19-8 報告会の企画(案)
 - 資料 19-9 予算の執行状況
5. 議事内容：
 - 5.1 議事録確認 [資料 19-2]
 - ・ 第18回研究委員会の議事録を確認した。
 - 5.2 委員会報告書の作成
 - (1) 津波避難部会 [資料 19-4]
 - ・ 佐藤部会長から報告書(案)について説明があった。「2.4 津波避難の課題と対策」については、今後充実させる。
 - ・ 「2.4 津波避難の課題と対策」についても、根拠を明示した説明が望まれる。
 - ・ 対応策について、個々の問題に対して地元住民と自治体が考え抜いており、本委員会では一般論に留めざるを得ないのではないか。
 - ・ 高台移転が抜本的な対策であるが、リスクを承知の上で居住する自由を認める考え方もある。
 - (2) 都市避難部会 [資料 19-5]
 - ・ 久田部会長から、特別調査委員会の報告書をベースに取りまとめるとの説明があった。
 - (3) シミュレーション部会 [資料 19-6]
 - ・ 荒木委員から、V&Vの現状について報告があった。結果に差が生じる理由について説明を加える予定である。
 - ・ 人の心理を予測することが困難であることを理由に、シミュレーションを全否定する人もいる。前提条件がなかなか伝わらず、誤解を受けることがある。シミュレーションが何に使えるのか、課題を含めて説明してもらいたい。
 - (4) 国際部会 [資料 19-7]
 - ・ 後藤委員長から、素材はできており、編集を行っている段階であるとの報告があった。
 - (5) 今後の予定

- ・ 「1. 研究委員会の概要」で各部会の活動概要をまとめているのでチェックをしてもらいたい。
- ・ 3月末までに各部会から報告書を提出していただく。

5.3 委員会報告会について [資料 19-8]

- ・ 津波避難とシミュレーションを中心とする。
- ・ 外部のパネリストに拘らず、委員会内部あるいは関係者でもよいのではないか。
- ・ 具体的テーマと候補日について、各委員に諮る。

5.4 予算の執行状況 [資料 19-9]

- ・ 山本幹事長から、予算の執行状況について報告があった。震災対策技術展（横浜）の費用の入金があれば、ほぼ±0となる。
- ・ 4月への寄付金の繰越額は、333,875円である。

5.5 新委員会について

- ・ 甲斐委員から、来年度の JAEE 年次大会（高知）で津波対策特別セッションを予定しているとの紹介があった。
- ・ 正式には来年度後半からとなるが、避難シミュレーションを有効活用し、世間に伝えるための委員会を立ち上げる予定である。

以上